

＼伝えたい／
私の街の産業ニュース

西東京市

TAKUMI navi



べっ甲時絵工房

代表
土方 杉久 (ひじかた すぎひさ)

住所：西東京市富士町 3-5-26
HP：https://bekkomakiekobo.com

べっ甲時絵工房



光が演出する

伝統工芸の世界



べっ甲と螺鈿時絵の魅力

べっ甲時絵工房(べっこうまきえこうぼう)は時絵師土方杉久代表が展開するインターネット通販のブランドである。着物の必需品といえるべっ甲のかんざし、帯留めのほか、洋装品のブローチ、ペンダントなど自ら制作した作品に加え、自身が監修した他の職人の作品もあわせて販売している。

そもそも、「べっ甲(鼈甲)」とはインド洋などの南の海域に生息している「玳瑁(タイマイ)」というウミガメの甲羅を巧みに加工、細工した製品をいう。また、「時絵(まきえ)」とは漆を塗った上に金粉を「時きつける」ことで絵や文様を表現する装飾技法である。さらに土方代表は螺鈿時絵(らでんまきえ)の技法を用いて作品を作り出している。「螺鈿(らでん)」とは夜光貝、鮑貝などの貝殻から採取される真珠層を加工し、文様を切り出して漆地に定着させる技法である。

祖父が時絵師、父がべっ甲製造卸業という家系に生まれた土方代表は、美術系の大学を卒業後、祖父の時絵技術を受け継ぐため修行入りし、技術をひとつひとつ修得してきた。「べっ甲は軽さ、品のある光沢、艶があるからこそ和装小物の中で人気があります。ですので、当店は私が吟味したものを自信をもって販売しています。」と土方代表はいう。また、螺鈿時絵は「身につけて初めてその貝の輝きを放ち、その貝の光の変化、煌びやかさが洒落(しゃれ)を演出します」という。

新たな取り組み

お客様が外出時に着用することが多い和装小物はコロナ禍で催事販売や婚礼イベントが減少し、販売状況は厳しい。そこで土方代表はインターネット販売に最近取り組みむこととなった。立ち上げに苦労したが、伝統工芸品をインターネットで通販するという新たなチャレンジとしてべっ甲時絵工房がオープンした。

お客様からの反響も好調である。結婚式に参加する予定のお客様から、どのようなものを身に付けていけばよいかわからないので教えてほしいという問い合わせもある。結婚式に適した装飾品と身に着ける方法をアドバイスさせていただくが、それが販売に繋がりに、後日、お礼の連絡をいただいたこともある。

逆境は続くが

土方代表は「この時代職人技術だけでは食べていけない、販売できる場所を持つことが大事で、他の職人さんもネット通販に取り組んでもらいたい。」と語る。

べっ甲、時絵の職人には後継者がいないという承継が課題になってきている。また、例えば作品を作るために必要な筆を作る職人がいなくなるといった伝統工芸全体の技術承継の難しさもある。土方代表はそのような状況の中でも、できる限り良い作品を皆さまにお届けしたいと今日も作品に向き合っている。ぜひ、ホームページでそんな職人の心意気と素晴らしい作品をみていただきたい。

西東京市
産業ニュース匠ナビ



本誌は西東京市の注目の企業・事業所のホットな情報をお届けしています。市内企業・事業所へのマッチング、商談などのご相談は、西東京市産業振興課までお問合せください。

《産業振興課・商工係》

SNSはじめました! ☎ 042-420-2819

@nishitokyo.takuminavi

https://fb.me/nishitokyo.takuminavi



参加者募集!

10/27(水)まで!

西東京市産業振興課 information

西東京市ビジネスプランコンテスト 2021-

アイデアと行動力が未来をつくる

本コンテストは、意欲的な個人又は事業者を発掘するとともに、地域で活躍する人材の育成を目的として実施します。

参加者の方には、地域企業・事業者とのネットワークづくりや販路開拓のサポートをとおり、新規事業の立ち上げを支援します。

詳しくは、特設ホームページからご確認ください。



西東京市 ビジネスプランコンテスト